

平成 29 年度 大阪桐蔭中学校・高等学校 学校評価

1. めざす学校像

- ・建学の精神「偉大なる平凡人たれ」と、桐蔭の教育方針「鼎立なりて碩量を育む」のもと、徳知体教育の充実を図ります。
- ・生徒一人一人が希望する進路、目標、自己実現を達成できる学校となります。
- ・高校 3 ヶ年それぞれのコースに応じた教育カリキュラム、また、設置するⅠ類・Ⅱ類・Ⅲ類のコース教育の特性を一層伸長させます。
- ・大阪桐蔭として日本を代表する中等教育機関としての地位を確立します。

2. 中期的目標

1. 教学改革

- (1) 学習指導の改訂
- (2) 人格の形成をめざして
- (3) 生徒指導の充実
- (4) 課外活動の活性化
- (5) 教育環境の充実

2. 進路指導の発展

- (1) 進学指導の充実
- (2) キャリア教育の充実

3. 人材育成

優秀な職員の確保と研修の促進

4. 施設設備の充実

5. 防災・安全対策

- (1) 防災対策の徹底
- (2) 安全対策の徹底

3. 学校評価委員会からの意見

学校評価委員会からの意見

1. 教学改革について

- (2) 人格形成をめざして
クラブ内でいじめ問題が起こっており完璧とはいえないので、今後も人格教育等を推進することが必要である。
- (3) 生徒指導の充実
こちらから挨拶をしないと挨拶しない生徒がまだまだ多い。挨拶の励行についてさらなる指導が必要である。
シャトルバス内のマナーが良くないので、指導が必要である。
- (4) 課外活動の活性化
Ⅲ類だけでなく、Ⅰ・Ⅱ類のクラブ活動はⅢ類程のレベルの高い結果でなくても、大会結果や活動について、ミマモルメ配信などをする事で、本人達はより達成感を得る事が出来、未加入の生徒への推進活動にもつながると考えられる。
- (5) 教育環境の充実
受験勉強のストレスなどを考えると、十分な心のケアが必要と思われるので、カウンセラーの充実は不可欠である。

2. 進路指導の発展について

(今後の対策として) 教師からの対策のみならず、前年度の卒業生から直接、受験に関して経験則を具体的に語ってもらう機会を設ければ、生徒はすごく参考になると考える。

3. 人材育成について

他校との比較は出来ないが、熱心な先生の流出が見受けられる。他校で教員をされているなら、職場環境が良いとは言えないという事も原因の一つとして考えられるので、長く勤めて頂ける環境を目指して欲しい。

4. 施設設備の充実について

ICT 担当教師から意見を聞き、セキュリティの精度が高く、成果を伴う環境整備が好ましいと考える。また、将来的には生徒に端末機を所持させることで資料配布などが簡素化できペーパーレス化にも貢献できると考える。
クラブの練習環境が十分とは言えず、特にグラウンドの整備を早急に進める必要がある。

5. 防災・安全対策について

防災訓練はもっと充実すべく検討する必要がある。
ミマモルメ加入率が想像以上に低いので、今後登下校の安全対策として自宅待機等の指示は HP 上でも確認できるようにしてはどうかと思う。

4. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価 ※【 】内は達成状況及び今後の課題
1 教	(1) 学習指導の改訂 ア. 教員指導力の向上	研究授業・教員向け研修会の実施、教員向け	研究授業の実施	学習合宿時に校内研(複数教員による授業

<p>学 改 革</p>	<p>への取り組み</p> <p>イ. 特色のある指導カリキュラムを通じた教科教育力の向上</p> <p>(2) 人格の形成をめざして</p> <p>ア. 課外活動を通じた人格教育の推進</p> <p>イ. 個性を発揮させる情操教育の推進</p> <p>ウ. 学校行事におけるグローバルズムへの取り組み</p> <p>(3) 生徒指導の充実</p> <p>ア. 挨拶・服装指導等によるマナー・躰教育の充実</p>	<p>外部研究会・研修への参加等による指導力向上。</p> <p>一貫生、高入生、類別に設定したカリキュラム、個別大学対応授業展開・習熟度別授業展開等の改革を通じての教育力向上。</p> <p>クラブ活動やボランティア活動等を通じた人格教育の推進。</p> <p>宿泊研修、文化祭、音楽祭、芸術鑑賞、文化講演会等をはじめ、学校教育すべてを通じての情操教育推進。</p> <p>語学研修や留学生との交流行事の実施等による国際教育の推進。</p> <p>挨拶・身嗜みや自転車マナーを含む通学マナーの指導徹底。</p>	<p>教員向け研修会の実施</p> <p>教科研究会・研修会への参加</p> <p>過年度比較によるカリキュラム評価。</p> <p>実験の実施回数</p> <p>中学英会話授業の実施回数</p> <p>人権教育・HR活動を通じた道徳教育の実施。</p> <p>クラブ活動を通じた人格教育の実施。</p> <p>宿泊研修、文化祭・音楽祭など文化的活動を通じた情操教育の実施</p> <p>カナダ研修等による国際教育の実施</p> <p>挨拶・身嗜み指導の実施</p> <p>通学・自転車マナー指導の実施</p>	<p>参観)を行った。【実施できた。】</p> <p>ハラスメント講習会を実施し、社会人・教員としてのモラル向上を図った。【実施できたが、研修回数をもっと増やすことが必要。】</p> <p>各教科の教員が外部の教科研究会・研修会に積極的に参加した。 【参加教員に偏りがあるので、今後は参加の少ない者に対して参加を促す。】</p> <p>新大学入試を見据えて英語コミュニケーション能力向上のための授業を増やすなどの変更を行った。【今後も継続してカリキュラムの評価を行っていく。】</p> <p>中学校は週1回、高校は年間5回実験実習授業を行った。【中学校は十分な回数であるが、高校はもう少し増やす必要がある。】</p> <p>中3年週1回オンライン英会話授業を実施した。中1・2年週1回ALTとの授業を実施した。【オンライン英会話の効果が確認できたので、対象学年を拡げること検討。】</p> <p>年2回のいじめアンケートを実施し、それに関連した人権HRを通じて人格教育を推進させた。【実施できた。】</p> <p>クラブ活動を通じて、豊かな人間関係・協調性などの人間力を育成することができた。 【クラブのほかにプロジェクトワークも同様の効果があるので、今後も引き続き推進していく。】</p> <p>春の学習合宿、夏季研修、文化祭、音楽祭、芸術鑑賞会を実施し、情操教育を充実させた。【研修はここ数年行き先が同じのため、行き先・内容の評価・見直しも必要。】</p> <p>カナダ語学研修において現地学生との交流会によって異文化理解を図った。 夏季研修において、中3生が留学生ボランティアと京都の寺社を回り、英語で交流を行った。【目標どおりできた。】</p> <p>新入生オリエンテーション、朝礼、学年集会、全校集会等を通じて、挨拶・服装・マナーの向上を図った。 【進んで挨拶をする生徒が増えた。】</p> <p>登下校時の立ち番指導及び集会を通じて自転車マナーの向上に取り組んだ。 【完璧ではないので、今後も継続指導を続</p>
----------------------	--	--	---	--

<p>イ. 学校生活全般における生徒指導の徹底</p> <p>(4) 課外活動の活性化</p> <p>ア. Ⅲ類活動実績向上</p>	<p>生徒指導の徹底を図り、生徒指導問題件数等の低減を図ります。</p> <p>全国大会への出場と上位進出を果たすための、指導強化。</p> <p>全国コンクールなどへの出場と金賞受賞に向けての指導強化。</p>	<p>問題防止のための講習会・講演会の実施</p> <p>各クラブの全国大会等への出場</p>	<p>ける。】</p> <p>薬物防止講習会、SNSに関する講演会を実施してトラブルに巻き込まれないよう注意喚起を行った。</p> <p>【講演会によって意図するところは達成できたが、問題行動に対しては今後も指導を継続する。】</p> <p>特定のクラブだけではなく、各クラブとも優秀な成果を収めた。</p> <p>《硬式野球部》</p> <p>選抜高等学校野球大会において全国優勝を果たしました。夏の選手権大会はベスト16、明治神宮野球大会ではベスト4でした。</p> <p>《ラグビー部》</p> <p>全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会において準優勝しました。</p> <p>全国高等学校ラグビーフットボール大会(花園大会)で初の決勝進出を果し、準優勝となりました。</p> <p>《ゴルフ部》</p> <p>全国高等学校ゴルフ選手権大会団体の部で女子第5位となりました。全国大会では創部以来の入賞です。</p> <p>PGA ジュニアゴルフ選手権太平洋クラブカップで山下美夢有さんが個人3位となりました。</p> <p>《卓球部》</p> <p>全国高等学校卓球選手権大会で学校対抗の部ベスト8(第5位表彰)となりました。また、全国高等学校体育連盟卓球専門部より学校対抗の部 20年連続出場の表彰を受けました。</p> <p>全国高等学校選抜卓球大会に 27年連続 27回目の出場を果し、ベスト16となりました。</p> <p>《男子サッカー部》</p> <p>全国高校サッカー選手権大会に9年ぶりに出場し、ベスト16に入りました。</p> <p>《女子バスケットボール部》</p> <p>全国インターハイで3位となりました。</p> <p>全国高等学校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ)において、初優勝を果たしました。</p> <p>《陸上競技部》</p> <p>全国インターハイ学校対抗の部で男子総合3位となりました。</p> <p>個人種目では、三段跳で川西紘生君が優勝、円盤投で増田直樹君が2位となるなど、4名が入賞しました。</p> <p>《吹奏楽部》</p> <p>全国吹奏楽コンクールで銀賞を受賞しました。</p> <p>ウイーン国際青少年音楽祭コンクールで吹奏楽部門第1位、MIDヨーロッパ国際青少年音楽祭コンクール全部門で総合グランプリ</p>
--	--	---	--

	<p>イ. 中学校・I II 類のクラブ活動の推進</p> <p>(5) 教育環境の充実 ア. 各種講座の実施</p>	<p>ボランティア活動を通じて国際交流を展開するインターアクトや、ロケット研究等多彩でユニークなクラブ活動の支援。</p> <p>フォローアップ講座・レベルアップ講座・大学別対策講座・長期休暇期間における受験対策講座を実施し、学力向上を図ります。</p>	<p>クラブへの加入率(70%以上)</p> <p>効果ある講座の実施</p>	<p>リを受賞しました。 【各クラブで全国大会出場を果し、硬式野球部、女子バスケットボール部の全国優勝など優秀な成績を収めた。】</p> <p>クラブ加入率が中学74%、高校72%となった。【目標を達成できた。】</p> <p>高校 I II 類の全クラスを対象に、週 1~2 回英語・数学のアップ講座を実施した。センター対策講座を年末年始も実施し、多数の生徒が参加した。センター試験後は前日まで2次試験対策講座を実施した。 【特別講座の実施により模擬試験の成績が向上し、多数の生徒が難関大学へ進学できた。】</p>
2 進 路 指 導 の 発 展	<p>イ. 面談によるアドバイスの実施</p> <p>ウ. 自習室の整備</p> <p>エ. 教育相談員による教育相談の活用</p>	<p>年間計画に基づく面談を実施し、生徒のモチベーションアップと学力アップに寄与します。</p> <p>放課後・休日に生徒が集中して学習できる時間と空間を確保します。</p> <p>担任と教育相談員が連携するなど、教育相談員の活用を推進します。</p>	<p>複数回の面談の実施</p> <p>放課後及び学校開放日数(日・祝・長期休暇・大晦日・正月・年度末)の十分な確保</p> <p>複数名のカウンセラーの配置 教育相談を週 5 日以上実施</p>	<p>三者懇談会を年2回、生徒との面談を年2回実施した。 【目標どおりできた。】</p> <p>放課後午後 8 時まで自習室を開放し、集中して勉強できる環境を確保した。日曜・祝日も自習できるよう学校を開放した。 【十分確保でき、生徒の利用も多かった。】</p> <p>3 名のスクールカウンセラーを配し、月~土(火曜除く)の放課後、教育相談室を開設した。【ほぼ毎日教育相談を行うことができた。今後、保健室、担任との連携をさらに進めていく。】</p>
3	<p>(1) 進路指導部の充実</p> <p>(2) キャリア教育の充実 ア. 教育講演会・文化講演会の実施</p> <p>イ. 進学ガイダンスの実施</p>	<p>進路研修会等への参加を推進し、スキル向上に努めます。</p> <p>キャリア教育における将来設計に寄与すべく、適切な講師による各種講演会を開催します。</p> <p>大学進学に備えた進路計画を描くことができるように、大学教員等によるガイダンスを実施します。</p>	<p>進路研究会・研修会への多数参加</p> <p>難関大学の合格者数 (東大、京大、国公立医学部に 100 名以上合格)</p> <p>講演会の実施</p> <p>進学ガイダンス実施</p>	<p>各種研究会・研究会へ各教科の教員が積極的に参加した。 【最新の入試動向・情報を収集することができ、進路指導に反映することができた。】</p> <p>東京大学に1名、京都大学に51名、国公立医学部に 26 名に合格した。【目標には至らなかったが、京大、難関国公立大合格者が増え、進路指導の成果が出た。】</p> <p>外部講師を招聘し「高分子」に関する教育講演会を実施した。将来研究者を目指す生徒への良い刺激となった。【実施回数を増やすことが望ましい。】</p> <p>京都大学学びコーディネーターによる出前授業、本校卒業生による東京大学紹介をそれぞれ1回実施した。【生徒の目標設定・進路決定に大きな効果があった。】</p>
	<p>ア. リクルート広報の活用</p>	<p>学校イメージの向上を図りつつ、適切な時期に採用試験を複数回実施し、優秀な人材の確保</p>	<p>学校イメージの向上 募集定員の充足</p>	<p>春と秋に採用試験を実施したが、募集定員を充足できなかった。</p>

材 育 成	イ. 指導力向上の為の 新任教員研修会実施	保に努めます。 校外新任教員研修会への参加を促進し、指導力向上を図ります。	研修会への参加	【今後は募集時期を早めて優秀人材を確保する。労働条件・待遇を明確にし、働きやすい職場であることをPRする。】 春・秋2回の校外人権研修会に新任教員が参加した。 【他の研修会にも参加を拡げることが必要である。】
4 施 設 設 備 の 充 実	ア. 教室整備の推進 イ. 学内 LAN の整備	必要な教室数・展開授業に備えた教室数の確保と、各教室における ICT 他 の整備等により、質と量の両面から快適な学習環境整備を行います。 職員室・事務室における LAN 環境を整備し、職員室の各教員にパソコン貸与を行い、情報伝達の効率化とペーパーレスを図るため、計画的に取り組めます。	全教室へのICT整備 LAN整備・ネット侵入対策の実施 電子決済の実施・ペーパーレス化の促進	全教室への電子黒板設置が完了し、効率的で分かりやすい授業が可能となった。また、ノートパソコンを全教室に設置し、PCと電子黒板とを連動させた授業ができるようになった。 【目標を達成できたが、ICT教育をさらに充実するため、今後 Wi-Fi 環境の整備を行う。】 LANの敷設はできたが、セキュリティ面が不十分なため、全教職員のネットワーク化に至らなかった。 【今後、セキュリティを強化するため、ネットワーク管理システムなどを導入する。】
5 防 災 ・ 安 全 対 策	(1) 防災対策の徹底 防災意識の向上 (2) 安全対策の徹底	定期的に避難訓練を実施し、消防署から講評・指導を受け、意識の向上を図ります。また、防災備品の準備を進めるとともに平成 25 年度から確保した備蓄食料に新入生分を購入・追加します。 通学時における安全対策の強化 教職員の立ち番指導の効果的な実施及び平成 25 年度導入の登下校時のメール配信システムへの登録拡大を図ります。	避難訓練の実施 消防署の講評 防災備品の準備・備蓄 生徒分の備蓄食糧確保 教員の立ち番実施 登下校メール配信システムへの加入状況(加入率 50%以上)	本館・東館に分けて火災発生を想定した避難訓練を実施した。【スムーズに避難ができ、消防署から高評価を得た。】 全生徒の 1 日分の備蓄食料を確保した。 【水の備蓄をさらに増やすため、保管場所を整備する必要がある。】 早朝に通学路に教員が立ち、生徒の安全・マナー指導を行った。 【近隣住民からの安全面に対するクレームを減らすため、通学マナー指導のさらなる徹底が必要である。】 登下校メール配信システムに、全校生徒の 43%の登録があった。 【目標には届かなかったが、入学時説明会でシステムの案内を行い、多数の保護者に登録していただいた。】